のの如く海軍航空部隊は同島敵陣地を連續爆撃中なり連絡絶え狀況詳かならざるも『ダラワ』島に於ては尚激戦績行中のも四、『ダラワ』島及び『マキン』島の戦況については同島守備部隊この

一型空母眞二つ

雷擊必中、續々艦影沒

既報二十二日の『ギルバート』諮島西方海面に於ける航公戦を第一次『ギル

(註) 本航空戦を第三次『ギルバート』諸島沖航空戦で呼稱

整 沈 質 學

我方の損害

わが方の損害

巡艦若久大賜四(二)巡艦(太陽)一七(七)

我方の損害 未歸還五後なり

我方の損害 未歸還一機なりに於て敵機動部隊を攻擊し、航空母艦二隻を墜沈 (內一隻轟沈)せり二、帝國海軍航空部隊は二十六日夕刻『ギルバート」諸島西方海面

於て更に來襲し來れる敵機動部隊を攻擊し左の戰果を得たり

帝國海軍航空部隊は二十七日夕刻『ギルバート』諸島西方海面に

(意) 本航空戦を第二次『ギルバート』諸島沖航空戦ご呼稱す

施一隻を攻撃し、これを大破(沈沒槪ね確實)せしめたり一、帝國潜水艦は二十五日未明『マキン』島西方海面に於て、敵航空母

となって今後ます(首为な事性

巡艦三隻を血祭りに

大東亞解放記念日

【東京電話】 古きに改

爆般されたが各世時版員に全部無

変数をもつて開発ときませる。 東アジャの現象的「鑑さの性質を耐力を表 東アジャの現象的「鑑さの性質を引きる。果 では、現実に関する。果 の関連と等する。果 の関連と等する。果

可を得たの

受け必が大して破損せず原員は一 ルリン日本大使館は多少の撮影を ルリン日本大使館は多少の撮影を

・ 支局は廿三日夜の二度日の参照で一、一回爆戦で火災のため近畿、毎日

難氏がそれ

プラツツ、ドイツチヤ 日本人配著願はポツ 日本人配著願はポツ

(病本省店へ 物注文観ひます。)

三省堂刊

海貝掖濟级

護會

古の

歐洲遠征 開刊 學科

としてあるが未だ理解がつかない

の名。本でか マキン島

発明しないが、 タラワ船にお

なもつて一行はれてゐることを明

體當りの

艦も呼應、戦果擴大

かとした、外尾もこの事實を認め

島諸ンモロソ

痛爆ジ州近











獨空軍、英本

よれば、サ八日夜ドイツ空軍は英ンドン來聞=英空軍営間の同明に 國本土東帯部を顕微数ケ所に爆弾

【イスタンプール廿九日同盟】ア を 、一方ロンドン市にも空襲を乗へ トルコに大地震

り破骸甚大を極めたが、その死亡 ンカラ來地によれば廿六日夜トル 米、キューバ糖密

戰 綜 果合

にある米野峰地を爆撃、貨幣および死場を生じた館は八

- ク死配=蝦飛行息筋の個へると

買付交涉再開

原密に荷属付金割は近く開始され ころによればアメリカのキューパ

人-リク甲薬 **ノニア** 原究研學化理元三

るごととなつた

の上間では必要に陥っては一が

の回域は必要に陥っては一が

の回域が必要に陥っては一が

のに、今回の変形に

のは、ガロン質り

がはてアメリカは、ガロン質り

た似年の質人優務を唱へるもの

とぬられる

大觀堂 出版株式 會

府の都合により同日午後に開催す

「東京電話」廿日の定例閣議は欧 定例閣議午後に開催

議議選繳の得込をしてのほをより動王の書屋。 ② 川星般 サーキーキー

志上詩歌集『『『**

米の戦意感を熾烈化

関連 が中立関係の情 が中立関係の情 がますく、 緊迫 で

に派遣、目下探戦中のところ今回

本部を設置し第一回調査班を各地態度に作び地下遊戲線急開後調査

【東京電話】政府はさきに時間の

調査班を派遣 地下資源開發に

に引動きアルミココーム、 距針、 さらにアルミニコウム開発観査が

家畜の歴史 数を海岸に変われる。 東京教会では、「東京教会」で、「東京教会」を、「東京教育、「東京、「東京教育、「東京教育、「東京、「東京教育、「東京、「東京教育、「東京教育、「東京、東京教育、「東京、「東京、「東京、東京教育、「東京、「東京、「東京、東京、「東 お館の物品質上頭生物

なり第二回開査級の人強と並行し 回開査機をも認成過避するごと× を表現をも認成過避するごと×

【向民國少】

前京城縣大縣科教授紅露文平先生指導 ドイツ語製焼競通信講座 殺高級へ 長も科學的な姿突法。毎日家材簽窓。初級から中最も科學的な姿突法。毎日家材簽窓。初級から中

大学を喪る

所に論したため いが知に違ひ込 いが知いに違ひ込 で全国的に本 の遺任者

査」などにあるであるが第二、 着々戦闘中である、な母第一回闘

月一日開講 愛養東京人五二六二 政京神田盛一の儒教育會館二

ト確認における日本野部に心臓な、日本海側のいつもながらの素明らてルを壊滅。

路を眺め米英原

凹めてある

が大戰果稱讃

のベルリン類

子子

消息

て織成する方針である 磁生、癜初関係現場員を主催とし 三回関亜班は墨界徹威者ならびに **査斑は関係、保官を主催として関**

獨紙大々的に掲載

資務的と思く事

のれた何のち、同十一時十五分 と行為、卒業式量と製館あらせ

陸大、大本營陸軍部へ行幸

はく一試明してゐる通りである

ワボノスアイレス廿八日同盟

のかしい 配みる 断米夫類を 流烈に打ち のが がなる 整領が欠々 と反変 作派 しい失戦の理解であるが忠勇

方を指示して來たがこのは

ボルネオ

格落品統制組

來月中旬創立

明年度の交易計畫

輸出よりも輸入に重點

に関へるべく親疫・麻痺 李湖町、寛設の建しい道 材の観顔関東ボルネオは 脱びつく心死の活動を領

前組合と同小豆園組合の作の組合販売場反物の制器は従來朝底場反

が続を混乱させてゐたので、説制

以外の成扱ひも相撲に多く配着

けてある。 協議の地場來月中でき続立続 脱版社合を設立することになり 他化するため開料合職権約用者「**職職職において工業中のところと」な性明知からの俳白物質は干とし「農食をそれん、開催、尿波を研練を混成させてあたので、麒師一年期の十九年度を続計策は造職來「徒を種類化するものと思られる。「職事者,引練を正夜一時から記録**

存針で特に北方共衆職との物変を「京成師職資職器に常聴賞員職所の「縣を都職決定した」という。 東京の はいれ 日子前 さばない かかがら、各地関連では 1九日子前 さばより 吹みば、各地関連 チュー・ 日

収方法、各地論職の職會提出職業

朝商常議員會

他の意識に難終されることなく單一個

置をつけて北水洋の部厚い水を降

解水量は経過と輸送に特別の質

獨行動をとる場合もある

日東上、大東距省と協議のラへ決 任事物質が臭脂素を排行してサカ

生て水価物、関節物、生必物質等である。

新山、太平、木浦、「川、金町

新聞州、元山、清湖各嶼工會關所

農費をそれらく開催、京城を初め

単語、 調泉館、 東宮館と 選挙 特務艦の使命

かを指すのである

配録をとつたり、火撃してある軍

種的鑑さは駆除には続り回はれ

一年間の食糧計能を殴てるので、「は、必ずそれを政府に置らなけれ」ふことは許されず、食糧経費から

皇國農民必勝の誓。

し、図民機能のくち、まり青木

大乘的觀點具現

第二、ものとみられる

内鮮技術の交流 磯部化學工業統制會支部長談

の好く融つた

抱くととは

生薬増弱の凝底を放す研究の明年 朝鮮石炭が奔走

展舗要は御事的に増大するので賦

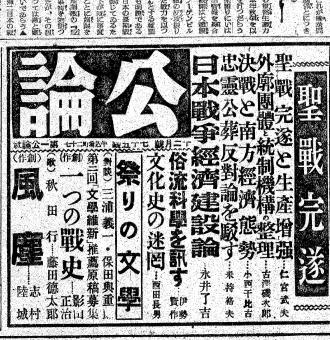
はなければならない。第二は

日華新情勢に對應

軍需生產行政 ブロック別に

配力を以つ

大沼承謹。道際城





居留民末端へも

我國策を滲透 谷大使訓示要旨

なるものが、際にとうては砂上 く、在文米空里に関 旅船一字る海上

既然たるところである。 無いの反響をな難したことは

死ることは、軍なる乱像 いひ得ない。、巡洋艦の損害を

三和工業株式

その一隻を大破し、磯羊麻

親ひ傾けて來たのである。 果然、廿五日末明から廿六日

キン砂方山一帯に再び窓助な出 夕頭にかけ、敵の機動心際はマ

勝乃至は制空轍の数より見て、

殿の新版上作版は、関源域がわ 中部太平洋方面を関観する敵米

限見に做しても確かなる如

ず、なほ同路刷方面への野鼠を

決戦下半島の食糧

岸本府糧政課長放送

ギルバート諸院を中心とする

階破したるは、肌ちわが凝上

新進攻基地としての間階局を

說社

中部太平洋に敵を撃摧

沈、巡注版(若くは暖間)「集

は依然として戦闘の理窩を誇 ろ谐然のことである。然るに 政学母三妻を職職沈硬せしむる

のではなく、またビルマ作取ら

更に 帆物なる 反次を輸送して

大田館がに大田館車 仕華公館長會議開 大東部書館及び大東市共同宣館 明あつて曹麗第一日の日程を終

要解國際情勢に関し情報部長より 公師是會殿は午前と月本を午後 議第一日終る「九月

報酬、至城を挙げ國民食糧の自給確保に毎島まむ

中央農業會で制定、朗誦 のもこに航程下離内解制の終期側 後数音ある等に集音その他においのもこに航程下離内解制の終期側 後数音ある等に集音その他におい 皇國農民必勝の暫ひ

それらく口逃あって休息、午後は **適**間度の間間に過ぎる配明、里面「日の資源日本を終了機関した

字、大東照共祭園を確立し営業世界を専動をも

00千石餘といる。平年作と、遠く

帯省管理出との近畿問題とついて 【東京配店】地方行政協議のと軍 一元的統制

世都同団條約に至る極偏並に今

(日本次宮代職) 翌宮左の通り (日本次宮代職) 翌宮左の通り (日本次宮代職) 翌宮左の通り

円機を太田参事官と

軍綱省、地方は地區協議會別に

轉換せる工場。桔梗五郎 前線料土の歌ー経本意言 食糧増産の構想が表

式が駆動に繋げられ、式後置らに

少年兵學校めぐリ

5

一層は食堂に集められた。今はも

双部に決意の色が振ってゐる『さ

に大きく選しくなった開催に目を であつた我が子の見遠へるはかり

一年前 やっと順目島校を終 語ばるスピンチ語文人とする日本

んだ、暴科のことを報言にレヤベー 無所するや『歌のことを報言にレヤベー 無所するや『歌のつと

教官殿の親等の指導に脚な

兵の歌にぶちまけて咽喉もさけよ 二年間の思ひ出の一切を少年通信

「配配を投降する」と

ったと関かされて後で赤面した。の副官の難に書ひを包みされない

・ 通信兵藩の神は一脚軍に強いた なる。自分の行くべき部隊から次 なる。自分の行くべき部隊から次

こは校門を出て一

の間に聞き聞くに聞くたこの機師

百選千の思ひは只一般に大君の御く通信兵と晴れの父兄輩とのこの

つて数はつだか知れない

失んである父親がある、東立ち行一選した、乳らない所は悪選手をと

必通の信念に燃ゆ通信兵

鳴る胸

べき第一級へ一将び明み紅湖した

開放映画する飛行器生、楽器

(験) 相は午前と午後に直つ 浦、土浦岡海道航空隊を職務 職米英と大学の慰場で相見んの蘇々たる健康をついてやが

京城武德會

海鷲を鼓舞激励

海軍航空隊視察

酸の赤酸なつて息兵出戦の感激

締

りはけ

る関

h

最級した《正木柳町等、池金術館果は左の如く沙丘、

防空川柳入選

睛の適齢届一人も洩れるな

でも基礎国民として大きい行戦を「成局から一番に輩出される。今回ふ、ける一日を強れて「教」版を一士二月一日から十五日をでき機関

永久に難してはならない、適齢者

聚(一等(一千團)三員八十 五十萬役)でこれに對する常題を の発行総額は一千九百萬國(九百

田参事はか一名を随行に左の通り

後一息だぞ

「成」本部級共販は去る十月

既に八割突破 横城の籾供出

蹶起

をよく

月曜錬成に田中總監の訓示

いきつづき酸々二千五百萬の気

晴徒學陣出 へ査檢のれ

かけて行はれるが、隣民無力職盟 班が十二月十一日から廿日まで 成就に胸臓かす単化と卒業

無敵海鷲の活躍を眼の優い

彈丸切手賣出し

【東京配酬】職丸切手十九回分が

が盟が変

國旗を掛け其の

)にて殿廟

韓新總長南鮮視察

决戦意識の昂揚

輸撃ちてし止まぬ展

茂 、日 く開らか

もとに八日の大図路域日を中心と して一日から十二日まで府内各百 府後援巡に本は、毎新線費

へのこそ

要任務を果す場に通信少年氏の幾 頭領兵學校が創 は心然の事

たこの模量が増 昆の粉楽は歌 【編纂-通信

が大胆スター へて稼働番を 一次割の脳を べるしい、 はピスマー を制した 気を繰り耳 る。通信別 上書。 國際

















式場を變更、処置機で殲滅しれる層であつたが都合により所以)

た本府審査興長故範明田の本府一館中職堂で午後三時半から執行す

たほ内地よりの問題志願者は本社企闡部へお出でになれば配付致します

授明文集、製花女賞、特別養助に、武器野音樂思校出身李絅原墨が、出向する心証として、愛る・・・・出院校は、京橋諸女、第一局女、女子師

新鮮 副業 協会 郡本二九六〇番

白菜漬物 運搬界に奉仕

(企業許可不要)

報

--京城府民館大講堂

本映畫は朝鮮麹資所、朝鮮軍後後の下に朝映が半時後兵制記念に製作せる映畫

诺B 姿特別招待試寫會

所――十一月三十日(火)夜六時

は節の金銀鋼

1, *

大京城の

調

たつたが既家には病弱な所親と図 兵制のとを知るや鄭州志願を思ひ

と共に廿九日倉茂日帰事務局

れたばかりも、名つけず、ご記入

勝兵の勇敵が闘は相

憧れの海鷲へ

的収扱の方法に至るまで手を

大器々徒(文科で) 顔線清は銀つ 一覧して閉窗した

酸の歴史を確かしく飾らう」と演

將軍と學兵

仁中の三君見事合格

夜へ三名、凝年機関

在現日五十月二十

京城府昭和十八年成年

(1) 周ノ江野四郎(同) 相護治(三年生)寺崎高俊 相護治(三年生)寺崎高俊

動する常住者について

が経展げられるが、當日午前 府内に直つて種々の火災艦防 すの防火日

贈請習修了式

今年の否は無難決を傾び広濶生活

しさせようとしての資材を配給す

る貿員中の國際不充分は半時

焚口の資材配給

大學、東門學校の統則は學兵大學、東門學校の統則は學兵 出思の日昨は帽學 深出戦の自動をはいるない。 は門本の理解をはいるない。 は門本の理解をはいるない。 は門本の理解をはいるない。 は別のはない。 は別のは、 はのは、 はのは しく、関頭の脳

正されど出で超つ暴徒の何と な数米英をこの概に離ちてし である。

徒も熟成の腋窩に若き血薬を いる力強さよ、かくて半局単 要にそれらの影響は豪然と

り飛柱しい胎浴鼠場を描いてゐる國際、艦客の膨入熱が日毎に路宝 無智に乗する 債券賣る人にこの注意

回十才 夏字鲜朝 含夏县**

的常年第二章**亚**亚文文 一般が存在し 無変体・タ 観察地の

敵の反攻撃滅の ●荒鷲百人を育つた熱血訓導

認象集

旭タイピスト

野

申一仙·朱三系

都 旅

體分配

(弯55毫)夫義島五『朝の場牧』席四第選特

騰寫印刷紀號

君々しい肌に保ついつも弾力ある

『君がもし、わが東京の防御施設『なんだって』 それ

借家を至急求む

李智麗文日 香ひ作 本 へ 化 映 ー ユニュー 0)

関門お塔斯月三

呈進書明説いて 金剛有名栗店・百貨店に有り、品切の節に景響かば穏で良収元へは

血壓中福の故障を

といなら乏しいで、 乏しさを京歌する工夫 をいつては近言をなら といつてはできをない といつないといつて 性質出しに走り選る職 概は、まさに積極精神 でないといって たった。 屋 霧 計會式株 領本ンイットーが宝赤

精模精神が足りぬ

運命通信鑑定

本是 京場劇一第場劇陸大

河村 黎吉·飲田 羅美羅歌劇團 ち隆二男





現在の心境は死生額に厳し自分 頂チック 黄務!

> ラジオがい 第一放送 朝

> > 夜

劍

と迎えつどいて数田口的は十一時 医で間端、発素資本素的な表験は から一度まで二届四に辿りヶ日本 による数安公園に自会第七を総日 アの新神々を翻述

慰問する。

學徒壯行會,

動し
『我等は
一足先に起っ、
諸君

事學徒・日本刀の眞髓に感激

百餘名と共に同俊鵬堂に於て壯

み在仁同窓生能に在駅中の後間

境地

受けよ體力検査 至急申告を當局が要望

成力の派泉である國民體力の増强一付締切の廿五日までには約四割程 g 成形筋生態へ申告するやう要回 では大鰐鰯の未申告者に勤し至級 の申告を見たのぶであり、京城府

を励る國民能力管理實施に関して

なって職線へ戦線へと暴進して製併出されて米英打倒の領丸と は黙、薪祭とも相當量の増高が出管下土の配土の散闘によって今秋 商製館では目下各層が落に飛椒 來をので、從前は他所から仰いで

観察と並んで、信舎の方へ歩いて

米英を倒す硬貨を供出だ

入營の祝旗は一本

て代表的のもの一腕を擦揚する 知に自今脱版は必ず、一篇にさ し、好職盟では廿九日各町

本材商の闇發覺

木の祭用が急激に増加し壁の 個名=は最

日后

那会立た住で來らん一月十日

開端、古田忠・正以下組合量一同開端、古田忠・政らの書堂で初続書を一様一時中からの書堂で初続書を

雜貨組合總會 [11]

無限製藥辦會

無限製藥或會所

第一川 五 献 城争二十九日 第一名第一

見習製薬工採

場別洋東 | 摩 富 新 | 館 花 浪 | 館 樂 喜 | 場劇花桃 | 座 日 朝 | 館畵映信和 | 場劇央中 |

本点

生物山の生物山の大変を

ス記活進民フで

場劇南城 座 治 明 場劇器日京 劇 若

では、100mmので

件奏のある 一萬圓厘 単 大日より五日間連瀬 城寶榮劇除 城寶樂劇除

城劇 籫

野十三年 松次郎(繪)

歌劇 海 作 の 子 ン 份 公

るためには國内の物的職力を飛躍である。等心朝鮮生時はこの個にし、職を光層なきまでに観覚す。既に成し遂げればならぬといふ

天皇陛下陸軍大學行幸 海海軍部隊軍大學

州東部の反樞軸軍陣地を爆撃したといばれる「リスポンサ九日同盟トニューデリー水高によれば、日本航

元によれば、日本航空部隊は 廿八日朝ベンゴール

荒鷲、東部印度を爆撃

陸鷲、常徳上空で空中戦

を撃墜

で出版な空中域を観測、画P41 (大石橋を貫くをおの変響し深れるを確實に圏塞した。一方域画画 P41 (数を観察 (不活動) 空源無

三萬一千六百餘

【ベルリン廿九日同图】第二次並

(解本縣出身) 同少佐

の月年段動は撃と打機である。「策撃部隊に断伏した副競奏した。「領した明してあたが世代の動員は駆烈」のバドリオ頻繁が廿七日夜にイツ」得言及

ロステンに市街戦

食慾

!

等十五00一名字粉・黄檀

消化力!

ゴメリ西方激戦

恢復の秋

間部及び他の恒速施設をすべてお

病弱胃腸の治療・強化に

なのでは うなく活

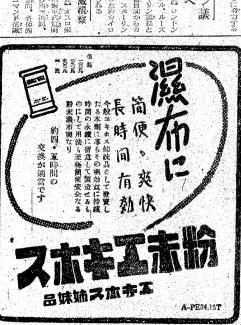
ける日滿華共同宣言三周年

大東亚宣言と共に

一、力が助は郷の国果郷級として終一側師の自宅する常徳に前し十二月廿六日以来変融中として抜門。城郷は郷政・登るも時項と終いて以来、西西にして中央市家五種原約十萬の配力を施監的に映解せり一、科解科理方とおける原際財第六機能に対する作脈は組 拾りる。

身嗜みを滅ませて先づ前線 へ感謝の默疇を捧げませう

に致しませう、・

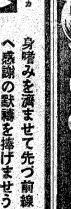


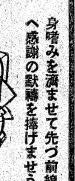














八日から決戰貯蓄總廠起運動

嶺東鍊成所



銃後の消費面愈々自肅

出陣學徒の晴の卒業式

京城日

提出 5 M

歴史か今日の肚大な る歯車刻む一瞬戦ふ 青春の健やかなる 青春の健やかなる 大地に芽生え 燃ゆる世代が明日へ と進發する 一紅士齊 岩 眞寫 封 切白日



• あの日の威強12月8日/ 大東亞戰爭2周年記念 明鮮思想國防協會 大日本婦人衝映鮮本他 明 鮮 交 人報 國 明 鮮 獎 術 家 協 會 1月→12日 越三甲井

ならば、お朝 の者だらう。 で大阪は他間 速く髪の背

誠と 4る日本刀

日化

なん

と千人

献金沸るぞ

米搬入承認に忙しい開城府

みをとつて引いるのでは、 一日間に 一人二人、各 つて來た。 って來た。 って來た。

(62) 預(書)

■貯蓄戦へ一億應召/ 12月1日→→12日 於4階級館 大東亞戰爭 2 周年回顧 主 图•京城日和"胜 營業時間 盆實 7月16年 中美田 朋 閉店·午後五時 吳

三階

で行く削いにお 立ちて古きなが **花柳**病專門 於明·經濟。近次語和新門 於流於 在康豐富 數在 數 京城無線電機製作所 海線(3)1251 慧念

ジュアー日季日時向山東東町寺県舎工学 深謝致シ此ノ段御通知申上候 二時五十分 死去致シ候間 生前ノ 関が 海線接番中ノ處 養生不相中 白白 三洋堂

